

## 平成26年度村政懇談会地区自治会質問・要望書兼回答書

【地区自治会名】 石神地区自治会

【質問・要望事項(題目)】 憩いの場としての公園整備について

【要旨(内容)】

少子・高齢化が益々進む中で、高齢者の地域とのふれあいが健康で元気に生きて行くための大きな要因の一つになると考えます。そのために、地域の老若男女が楽しく気軽に集える公園が在ると、幼児・高齢者も多くの仲間・多くの若い人達と集い、健康な生活が送れます。石神地区5区の皆さんが集うそのような公園がほしいものと考えています。そこで、行政として村全体の公園整備の考え方を、近将来も含め示していただきたい。

<事例として>

1. 内宿溜池の公園化
2. 前谷水田地内に耕作放棄地を含めた公園化

【回答】

《建設農政部 都市政策課》

石神地区の皆様におかれましては、村民の森等(斜面緑地)をはじめ、石神城址公園、前谷津緑地等の緑地保全活動にご協力をいただき誠にありがとうございます。おかげさまで、緑地が良好に保たれているところです。

さて、公園整備については、市街化区域を中心に「街区・近隣公園」を整備しているほか、「子どもの遊び場」などを、おおむね各区に整備したところであり、公園整備についてはほぼ完了したと考えております。しかしながら、全国的な少子高齢化の進行など地域の置かれた状況は変化していますので、あるべき公園の形についても状況に応じて随時検討していくことになると考えています。

石神地区には、内宿溜や前谷溜の水辺や斜面緑地、谷津田など貴重な自然が残っており、これらは東海村みどりの実施計画や東海村生物多様性地域戦略において保全する方針を示しているところですので、基本的には緑地や農地は保全を進めていく方向です。そのなかで内宿溜など、地域の皆さんとともに自然を守り、生物や自然に親しむ「みどりの拠点」としていくことは1つの方策と考えます。

【地区自治会名】 石神地区自治会

【質問・要望事項(題目)】石神地区の道路整備計画について

【要旨(内容)】

石神地区の道路整備については、災害時の緊急避難道路。安全確保面よりの道路改善など多くの提案をしてきた。一部暫定的な整備はされた個所もあるものの、完全に整備された案件はない。ここで、もう一度石神地区の道路整備計画について説明を頂きたい(みちづくり検討委員会との関連も含め)。

1. 外宿一区西原地区スマートインターから6号線までの道路狭隘と安全確保について
2. 石神小学校～外宿二区自治会集会所の狭隘について(住民移転により一部空き地となった)
3. 前谷水田道路沈下による雨天時の冠水(小学校児童は迂回通学)改善について
4. 原発線長松院十字路からJR陸橋の道路騒音(一部改善)対策について
5. 竹瓦区～座応山間の避難道路整備(竹瓦区民は石神小学校避難を一義)について
6. そして、避難道路としてのスマートインターの本格インター化について(新規)

【回答】

《建設農政部 みちづくり課》

- ①道路の狭隘対策や安全の確保につきましては路線毎に利用状況も異なり、地域の状況に応じた対策が重要であると捉えております。  
どのような対策が有効なのか、現在設置をお願いしている「みちづくり検討委員会」が中心となって行政と地域の方々と一緒に協議を行ってまいりたいと考えております。
- ②石神小学校～外宿二区自治会集会所の狭隘につきましては今年度に測量調査を予定しております。その後整備ができるように進めていく予定でおります。
- ③前谷水田道路沈下による雨天時の改善につきましては路線的に考えて地盤の沈下の原因を調査しているところであります。その調査結果により今後対策を考えていく予定で降りますので、もう少し時間がかかります。小学校児童の通学に影響があるものは部分的な改善である場合は対応していきます。
- ④原発線長松院十字路からJR陸橋の道路騒音につきましては、承知しているところであります。一部改善工事をしましたが、傷みがひどいので全体的な修繕が必要となります。修繕につきましては計画的に整備していく予定でおります。また、今年度歩道の拡幅工事を予定しておりますので、その工事のときに一部補修ができればと考えております。
- ⑤避難道路整備につきましては非常に大切なことと捉えておりますが、村全体の避難について現在整理中でございますので、今後、関係各課と協議し検討していきたいと考えております。

《建設農政部 都市政策課》

- ⑥避難道路としての東海スマートICの本格化につきましては、下り側のアクセス道路幅の問題があり、連結許可上、ETC専用で中型車以上の車種は利用できない状況となっております。1つの方法として那珂市側の道路を拡幅することで対応できないか那珂市と協議を進めているところでありますが、合意を得られない状況にあります。今後も東海スマートICの活用について協議してまいります。

## 平成26年度村政懇談会地区自治会質問・要望書兼回答書

【地区自治会名】 石神地区自治会

【質問・要望事項(題目)】耕作放棄地解消の考え方について

【要旨(内容)】

耕作者の高齢化が進む中で、益々増えている耕作放棄地を解消するために、村としてどのような考えを持っているのか、近い将来も含め構想を説明していただきたい。

<現状>

1. 放棄地の増大による土地の荒廃・火事などの危険性の増大
2. 他事業者の作付による土地の荒廃
3. 放棄地の増大に比例した不法投棄による環境の悪化という二次被害
4. 放棄地・遊休地の所有者または耕作者等に対して、村より土地の保全の指導を実施してもらいたい。

■質問に対する問合せ先 石神地区自治会  
内宿一区自治会長 関 誠一 TEL282-7865

【回答】(できるだけ簡潔にまとめてください)

【農業委員会】

耕作放棄地の発生原因につきましては、農家の高齢化や担い手問題、土地条件が悪いなど様々であります。村農業委員会では毎年、全農地に対し、利用状況調査を実施しております。今年度につきましては、この調査実施後に、耕作放棄された地権者に対し、今後の利用意向調査を実施して、今年度発足した農地中間管理機構や担い手への斡旋、更には利用権設定による賃借の推進等の提言をしていきたいと考えております。

【建設農政部農業政策課】

農地所有者が耕作放棄地を農地として活用できるように、農地復元の補助事業による助成を実施したり、具体的な経営モデルを示すなどの助言を行うと共に、耕作が出来ない場合には、地域の担い手への紹介を行うなどの支援を行ってまいります。